

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

チャバネアオカメムシの発生量と果樹園への飛来時期について

本年の第一世代成虫（新成虫）の発生量は、前年並のやや少と予想しています。しかし、ヒノキの球果量がやや少であることから、早い地域では盆前頃から果樹園に飛来する可能性があります。

つきましては、各々の園を見回り、早期発見と適期防除を行うよう指導願います。

技術情報第1号

- 1 作物名 果樹全般（ナシ、カキ、カンキツ等）
- 2 病虫害名 チャバネアオカメムシ
- 3 第一世代成虫発生量 前年並
- 4 果樹園の飛来時期 県平均 : 8月31日頃
県南地域（筑後支所管内） : 8月20日頃
一部の早い地域 : 8月10日頃
- 5 発生量の根拠
 - （1）チャバネアオカメムシの6月1半旬～7月5半旬までの県下3か所（筑紫野市、うきは市、八女市黒木町）の予察灯における合計誘殺数は1,648頭（前年 633頭）と前年並であった（図1）。
 - （2）6月2半旬のヒノキの球果量調査の結果、球果量はやや少であった（表1）。
 - （3）県下22か所における、7月5半旬のビ－ティング調査の結果、1地点当たりのチャバネアオカメムシは、7.6頭（前年 10.0頭、前々年 7.4頭）で前年・前々年並であった（表2）。
- 6 飛来時期の根拠
 - （1）チャバネアオカメムシの成虫はヒノキ1球果当たりの平均口針鞘数が25本を超えると、ヒノキから離脱するとされている。
県下22か所における7月5半旬のヒノキ球果の口針鞘数調査結果は、1果当たり県内平均3.9本で、飛来時期予測式による果樹園の主要飛来時期は8月31日頃と予想される（表2）。
ただし、県南地域は平均7.0本で8月20日頃、10本を超えている地域では8月10日頃から飛来すると予想される。
 - （2）7月5半旬のヒノキ球果ビ－ティング調査の結果、チャバネアオカメムシの県内の主要齢期は1～3齢で、8月中旬以降に成虫が増加すると予想される（表2）。
しかし、県南地域の主要齢期は2～4齢で、県内平均よりもやや早く成虫になると予想される。
- 7 防除上注意すべき事項
 - （1）飛来時期や飛来量は地域によって差が大きいので、こまめに園を見回り、飛来が認められたら防除を行う。
 - （2）カメムシ類は広範囲に移動するため、広域一斉防除が有効である。
 - （3）農薬散布に当たっては、樹種によって使用できる薬剤が異なるので、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

表1 ヒノキ球果結実量調査結果(2010年)

調査場所	調査月日	ヒノキ結実量	
		評価	値
宗像市山田	6月11日	やや少	3
前原市高祖		中	4
古賀市青柳		少	2
飯塚市庄内町入水	6月9日	極少	1
久留米市田主丸町益生田	6月10日	少	2
久留米市田主丸町森部		少	2
うきは市浮羽町小塩		少	2
朝倉市長谷山		極少	1
朝倉市柳原	6月8日	少	2
朝倉市屋形原		極少	1
朝倉市宮野		少	2
朝倉市須川		やや少	3
朝倉市杷木町志波		やや多	5
本所管内		平均	少
大牟田市上内	6月9日	やや少	3
みやま市山川町立山		やや少	3
八女市立花町白木		やや少	3
八女市立花町飛形山		中	4
八女市黒木町野田山		やや少	3
八女市黒木町今		少	2
八女市黒木町本分		少	2
八女市宅間田		やや少	3
広川町梯		少	2
筑後支所管内	平均	やや少	2.8
岡垣町上畑	6月8日	中	4
岡垣町戸切		多	6
みやこ町犀川木山	6月9日	中	4
上毛町唐原		中	4
築上町寒田		中	4
築上町本庄		多	6
行橋支所管内		平均	やや多
全体	平均	やや少	3.0

<数値の処理について>

*ヒノキ球果の豊凶基準に基づき、極少を1・極多を7として本・支所管内と全体の平均値を算出。

表2 ヒノキ球果の口針数及びヒノキのピーティング調査によるカメムシ類の虫数

調査時期:7月5半旬

調査場所	口針数調査		ピーティング調査(頭)														3種の合計	
	被害球果率(%)	口針数(本)	チャバネアオカメムシ											ツヤアオカメムシ		クサガカメムシ		
			成虫数	幼虫数					計	成虫数	幼虫数	計	成虫数	幼虫数	計			
		1令	2令	3令	4令	5令	計	計	成虫数	幼虫数	計	成虫数	幼虫数	計				
本所管内	宗像市山田	40	0.6	0	2	0	2	0	0	4	4	0	2	2	0	0	0	6
	前原市高祖	15	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	古賀市青柳	75	5.8	1	10	5	5	3	1	24	25	0	2	2	0	0	0	27
	庄内町入水	5	0.1	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	2
	久留米市田主丸町益生田	80	2.4	0	10	1	0	1	0	12	12	0	4	4	0	0	0	16
	久留米市田主丸町森部	100	5.8	0	2	2	2	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	6
	うきは市浮羽町小塩	85	4.4	2	0	0	3	0	0	3	5	0	1	1	0	0	0	6
	朝倉市長谷山	85	3.2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2
	朝倉市柳原	30	0.5	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2
	朝倉市宮野	70	1.6	0	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
	朝倉市須川	30	0.4	0	9	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	9
	朝倉市杷木町志波	75	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
本所平均(12カ所)	57.5	2.2	0.3	2.8	0.7	1.3	0.4	0.2	5.3	5.6	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	6.6	
筑後支所管内	大牟田市上内	80	8.0	10	0	0	1	2	1	4	14	1	5	6	0	0	0	20
	みやま市山川町立山	100	17.1	1	1	2	2	6	7	18	19	1	15	16	0	0	0	35
	八女市立花町白木	85	4.3	0	0	2	3	1	2	8	8	2	2	4	0	0	0	12
	八女市立花町飛形山	100	7.7	11	0	2	8	2	0	12	23	3	5	8	3	0	3	34
	八女市黒木町野田山	100	2.3	1	0	5	2	0	0	7	8	0	1	1	0	0	0	9
	八女市黒木町今	100	10.8	5	0	0	2	0	1	3	8	1	4	5	0	0	0	13
	八女市宅間田	100	3.5	2	0	1	1	0	3	5	7	0	1	1	0	0	0	8
	広川町梯	100	2.5	7	0	0	2	2	0	4	11	2	3	5	1	0	1	16
筑後支所平均(8カ所)	95.6	7.0	4.6	0.1	1.5	2.6	1.6	1.8	7.6	12.2	1.3	4.5	5.8	0.4	0	0.4	18.4	
行橋	築上町寒田	10	2.0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	築上町本庄	5	1.0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	行橋支所平均(2カ所)	7.5	1.5	0.5	0.0	1	0	0	0	0.5	1.0	0	0	0.0	0	0	0	1.0
県内平均(22カ所)	65.2	3.9	1.6	1.7	1.0	1.6	0.8	0.8	5.8	7.4	0.4	2.1	2.5	0.1	0	0.1	10.1	
チャバネアオカメムシの捕獲率			21.8	22.4	13.5	21.8	10.3	10.3	78.2	100.0	成 幼虫比(%)		成 幼虫比(%)					
筑後支所管内平均(%)			37.9	1.2	12.3	21.5	12.9	14.3	62.1	100.0	15.1	84.9	100.0	100.0	0.0	100.0		

注1)口針数調査は1地点当たり20球果、口針数は20球果の平均である。

注2)ピーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたき落として、その合計虫数である。

注3)チャバネアオカメムシの卵から次世代の成虫になるまでの期間は、夏の温度では約30~40日である。

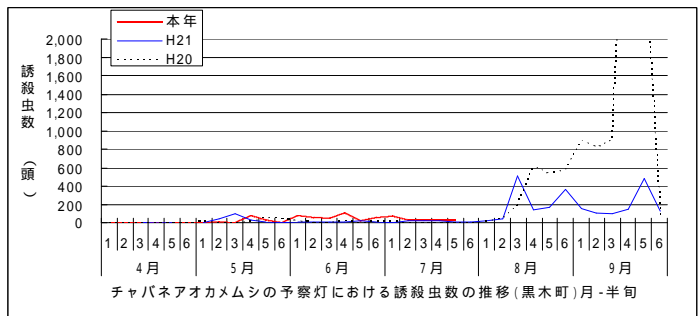
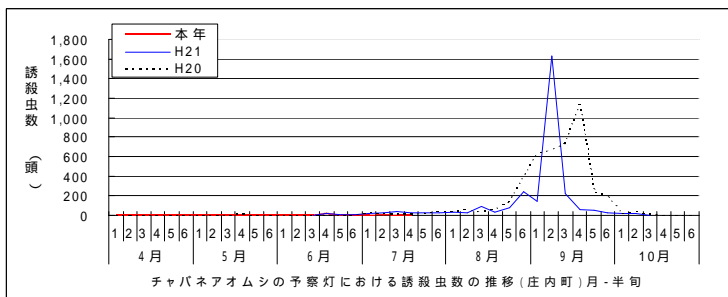
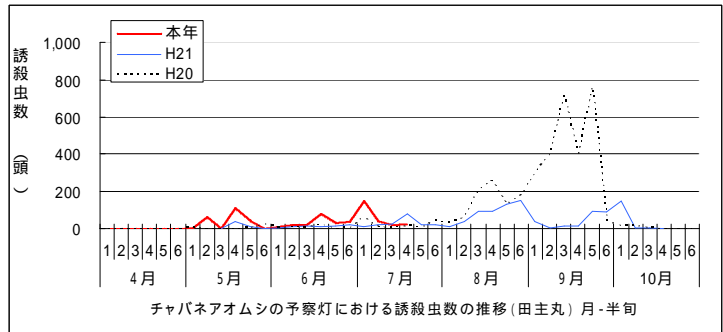
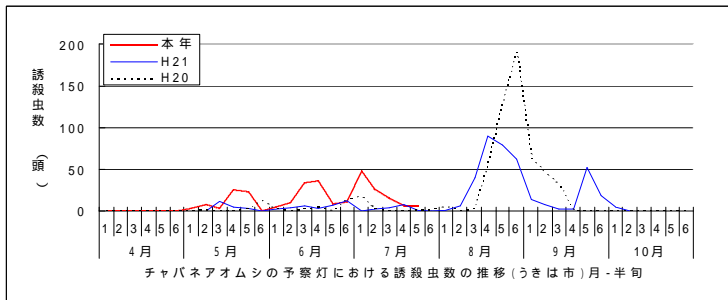
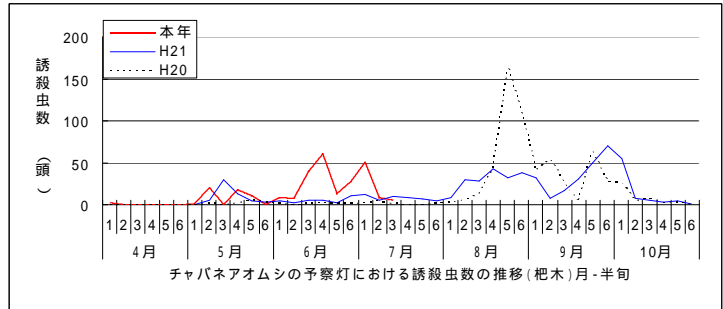
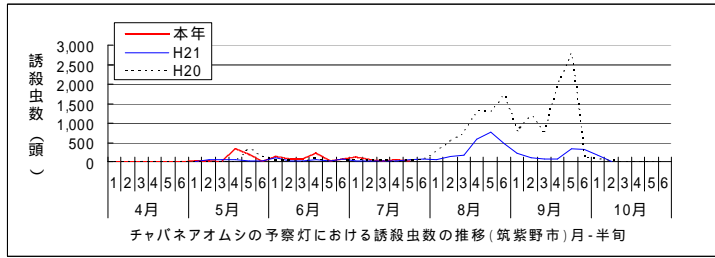


図1 県下6地点の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

